

# 平成 16 年 3 月期 第 3 四半期業績の概況 (連結)

平成 16 年 2 月 12 日

上場会社名 川崎近海汽船株式会社 (コード番号: 9179 東証第二部)

(URL <http://www.kawakin.co.jp>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 荒木 武文  
責任者役職・氏名 経理部長 木村 孝史 TEL (03) 3592-5811

## 1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無  
連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 無

## 2. 平成 16 年 3 月期第 3 四半期の業績概況 (平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 15 年 12 月 31 日)

### (1) 経営成績 (連結) の進捗状況

(百万円未満切捨て)

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
16 年 3 月期第 3 四半期	20,434	-	1,233	-	989	-
15 年 3 月期第 3 四半期	-	-	-	-	-	-
(参考) 15 年 3 月期	26,756	2.4	1,244	17.5	807	0.5

- (注) 1. 売上高等におけるパーセント表示は、対前年同期増減率を示しております。  
2. 四半期業績の概況は 16 年 3 月期第 1 四半期より作成しておりますので、前年同期との業績比較は行っておりません。

### [ 経営成績 (連結) の進捗状況に関する定性的情報等 ]

第 3 四半期におけるわが国経済は、企業収益の改善、設備投資に増加の兆しが現われ、株価回復傾向を示して若干の明るさが見え始める状況となりましたが、個人消費が低迷し本格的な景気回復には今一步時間がかかる状況にあります。

このような情勢下において、近海部門では、旺盛な中国の需要を背景に輸出鋼材先が中国、韓国に集中した結果、香港・海峡地向け鋼材輸送量は減少しましたが、不定期船については市況の回復に伴い輸送量は大きく増加しました。また内航部門では国内景気が伸び悩むなかで、集荷活動を強化し常陸那珂航路を始めとする R O R O 船による定期航路は引き続き堅調な輸送量を確保しました。一方フェリー部門においては八戸航路では多客期の台風の影響等により旅客数は減少しましたが、東京航路においては、苫小牧発の積載率向上に努め輸送量は増加しました。

この結果、平成 15 年 4 月 1 日から平成 15 年 12 月 31 日までの売上高は 204 億 34 百万円、営業利益は 12 億 33 百万円、経常利益は 9 億 89 百万円となりました。

(参考1) 四半期個別経営成績等の概況(平成15年4月1日~平成15年12月31日)

(百万円未満切捨て)

	売上高	営業利益	経常利益
	百万円	百万円	百万円
16年3月期第3四半期	20,607	1,170	998
15年3月期第3四半期	-	-	-

3.平成16年3月期の連結業績予想(平成15年4月1日~平成16年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円	百万円	百万円	円 銭
(平成15年11月13日発表)	26,700	900	380	11.48
今回修正予想(B)	27,000	1,100	550	17.29
増減額(B-A)	300	200	170	5.81
増減率	1.1%	22.2%	44.7%	50.6%

[業績予想に関する定性的情報等]

当第3四半期までの進捗状況等を勘案し、連結・個別とも、平成15年11月13日発表の業績予想数値を経常利益22.2%増、当期純利益44.7%増の上方修正致しました。

(参考2) 平成16年3月期の個別業績予想(平成15年4月1日~平成16年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円	百万円	百万円	円 銭
(平成15年11月13日発表)	26,700	900	380	11.48
今回修正予想(B)	27,000	1,100	550	17.29
増減額(B-A)	300	200	170	5.81
増減率	1.1%	22.2%	44.7%	50.6%

\*上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。

実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

第3四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当第3四半期連結会計期間		前事業年度の 要約連結損益計算書	
	自 平成15年 4月 1日 至 平成15年12月31日		自 平成14年 4月 1日 至 平成15年 3月31日	
	金額	百分比	金額	百分比
		%		%
売上高	20,434,748	100.0	26,756,269	100.0
売上原価	16,831,955	82.4	22,350,768	83.6
一般管理費	2,369,036	11.6	3,160,980	11.8
営業利益	1,233,756	6.0	1,244,520	4.6
営業外収益	31,816	0.2	43,617	0.2
営業外費用	276,061	1.4	480,961	1.8
経常利益	989,511	4.8	807,176	3.0

第3四半期個別損益計算書

(単位：千円)

科目	当第3四半期会計期間 自 平成15年 4月 1日 至 平成15年12月31日		前事業年度の 要約損益計算書 自 平成14年 4月 1日 至 平成15年 3月31日	
	金額	百分比	金額	百分比
海運業収益	20,537,582	%	26,718,642	%
その他事業収益	70,383		95,359	
営業収益計	20,607,966	100.0	26,814,002	100.0
海運業費用	17,172,162		22,626,633	
その他事業費用	32,778		44,533	
一般管理費	2,232,472		2,985,054	
営業費用計	19,437,413	94.3	25,656,221	95.7
営業利益	1,170,553	5.7	1,157,780	4.3
営業外収益	28,756	0.1	30,673	0.1
営業外費用	200,448	1.0	363,798	1.3
経常利益	998,861	4.8	824,656	3.1